



九条はらまち

福島県「はらまち九条の会」会報 No.267

2015(平成27)年7月19日(日)発行 新国立のように、

人命吐

●昔から漢字には俗説や自分勝手に解釈する風潮があります。「人という字は…」や、「命」を「人の心臓を叩く」とか、「明」は「日と月で明るい」とか、「吐」は「口からプラスとマイナス、マイナスを無くせば夢が叶う」など全くのこじつけで、「日は窓のことで、窓から月の光が射して明るい」という意味。●漢字一つひとつ、学者たちの数千年に及ぶ身を削る研究を無視。●どこか政府与党の手前勝手な憲法解釈に似ています。

民意です。

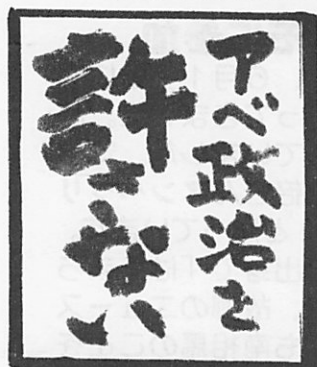
民意無視の「安保・戦争法案」が衆議院通過

あきらめないで無謀な「アベ政治を許さない」の意思表示を!

「新国立競技場の見直し」のように、撤回、廃案に追い込みましょう

連日腹立たしい国会のニュースが伝わってきて、耳をおおいたくなります。

会員の皆さんの声や、事務局員の意見など、バラバラですがひろってみました。



■安倍さんの奥さんや、自民党議員の家族はどう思っているのかな?

■安倍さんに異論を唱える自民・公明党議員は数人だけ。情けない。

■デモなど民放では随分放送したが、NHKではほとんど無視している。本当にひどい。なにが公共放送だ。「アベ放送局」と名前を変えるべきだ。

■「60日ルール」を持ち出して、どこまでもする自民党。

■どうしてこんなにアメリカのために頑張るのか、何かウラがあるのか。

■新国立競技場問題は目眩しました。「1ヶ月前に再検討していた」と安倍首相は言うが、榊添知事は「じゃ6月29日になぜ政府案を決定したのか」と批判。「汚染水はコントロールされている」と世界にウソを言って五輪を誘致したのだから、国民を騙すことも、支持率が下がっても平気です。何でもすぐに忘れる国民性を政府はちゃんと計算済みですね。

■女性や若者、学生が国会周辺でも、地方都市でもデモを起こし、参加者も多くなっていて希望が持てます。あきらめは負け、活動を続けましょう。

▲澤地久枝さんの提案。

俳人金子兜太さん書。

7月18日以降もずっと掲げておきましょう。

♡ 一方、政府与党の暴挙に対して、我が南相馬市では…… ♡

「不戦を誓った憲法9条を破壊」という市民団体からの陳情で

南相馬市議会「安保法案廃案へ意見書」可決

○南相馬市議会6月定例会は7月2日、市民団体の陳情を受け、安倍内閣が5月に閣議決定した、国際平和支援法案と平和安全法制整備法案(安保法案・戦争法案)の廃案を求める国への意見書を可決しました。○意見書はこの2法案を「歴代の自民党政権が憲法上できないとしてきたことをあっさり踏み越え、アジアと世界に不戦を誓った憲法9条を立法によって破壊し、戦後日本の国の在り方を根底から覆すものと言わざるを得ない」と批判、「廃案にするよう強く要請する」としています。○市議会議員で反対は、公明党と保守系会派の2人でした。○一方7月1日、福島県議会はこの「安保法案反対の意見書」を否決しています。震災後も国や政府に盲従する「福島県」ならでのことです。

しかし、南相馬市議会は、「大震災でお世話になった自衛隊員の命を守れ」と、昨年から、

①2014年6月19日「集団的自衛権行使容認に反対の意見書」を可決、

②今2015年3月25日「脱原発都市宣言」を表明、

③6月全市全戸に『憲法・小冊子』配布決定、

そして今回、④「安保法案廃案へ意見書」可決など、次々勇気ある決議を行っています。

「はらまち九条の会」発足10周年記念事業『会報集録その②』を発行

◆ 本会は今年12月7日に発足10周年を迎えます。その記念事業として『会報集録その②』を、次の＜要領＞で発行します。

- 1 発行日 2015年12月7日（10月の総会まで印刷発行する。）
 - 2 A4版、約350ページ。著作権の関係で非売品とする。
 - 3 200部発行、約50部を図書館などに寄贈する。
 - 4 掲載の会報は101～270号（『会報集録1～100号』は2009年6月に発刊しました。）
 - 5 発刊経費は約40万円ですが、会の会計から20万円を支出し、20万円を会員有志から「協賛金」を募集して発行する。「協賛金」は一口5千円とし、一口につき1冊をお頒けする。
 - 6 『集録』ご希望の方には、カンパとして1冊1,000円でお頒けし、会計係が収支を担当する。
 - 7 「協賛金」、『集録』ご希望の方は事務局員までお申し出ください。昨年6月に発行をお知らせしましたが、もちろん募金は任意です。ご協力できる方、よろしくお願いいたします。
- この『集録』のNo.164以降には、震災後の会員や南相馬市の被災の記録も掲載されています。



全国の会員さんからの便り

瀬戸内寂聴さんの言葉に感激

■梅雨の気配が感じられる様になりました。6月18日の国会前での瀬戸内寂聴さんの言葉に感激しています。高齢で病身なのにマイクを握って反戦の思いを語って、頭が下がりますが、毎日私も日本の前途が心配になっております。（仙台市のNさん）

■会費お送り致します。福島県から埼玉県に移住しましたが、新宿での反原発集会、九条を守るデモなどに行っています。動ける範囲で頑張ります。（埼玉県戸田市のKさん）



6月14日国会前デモに参加

■安倍政権への怒りとともに、6月14日に国会へ戦争法案反対のデモに行ってきました。高齢者の中で女性も多く参加していました。安倍さんの傲慢さには呆れて、安倍さんアンペウリグなって早く退陣しないかな！と思っています。

私は南相馬市原町区石神の出身で「はらまち九条の会」に入っていますが、故郷のニュースには勿論関心があり、友人にも南相馬のことをいつも話しています。作家の柳美里さんが鎌倉から南相馬市に移住し、劇団を立ち上げるそうですが、被災地の南相馬市のことを考えてくれて嬉しいです。（神奈川県相模原市のTさん）

＜事務局より＞

「憲法 全戸配布」陳情が採択 ご支援ご協力に感謝申し上げます

会長 平田慶肇

私たち「九条の会」が陳情していた「憲法小冊子を全戸に配布」の案件は、市議会議員の皆様のご理解とご協力により採択の運びとなりました。これからは真の早期実現に向けて見守って行きたいと思えます。会員の皆様のご支援に感謝申し上げ、引き続き更なるご支援、ご協力をお願いいたします。

新しく事務局員に田中徳雲さん

◆徳雲さんは小高区の古刹同慶寺の住職で、「小高九条の会」世話人で、「みなさんで力をあわせましょう」と話しておられます。中高年者が多い事務局に、昨年入られた栗村さんご夫妻とともに若い世代なので、大いに新鮮な風を入れていただけたと思います。嬉しいです。

◆7月16日夜7時から平田会長宅で事務局会を開催。会報の内容の検討や今後の活動など、10時近くまで熱心な話し合いが行われました。「9条が危うい今、活動が生ぬるい」という批判もあり、ご意見をお寄せください。（山崎）

＜「はらまち九条の会」事務局員連絡先 市外局番はTEL0244＞

○会長：平田慶肇（ひらた けいいち） TEL24-1211

○事務局長：山崎健一 TEL090-7527-5453 Eメール：yamazakiken1@gmail.com

○会計：井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL22-7511・FAX26-0892

○石田賢二 TEL080-5556-4037 ○早坂吉彦 TEL22-0326 ○番場恵子 TEL22-0715

○ホームページ担当：大浦祥見 TEL24-0704 ○志賀勝明 TEL090-9530-5524

○栗村文夫・桂子 TEL090-8851-6904 ○田中徳雲 TEL090-2796-4066

